

# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート(平成30年度分)

事務事業名	藤澤浮世絵館運営管理費								担当課	部課名	生涯学習部郷土歴史課					
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	01	細目	008	説明	02	課等の長	横田淳一	電話	6420

## 1. 事業概要

事業開始年度	25 年度		終了(予定)年度	未定 年度		事業の性質	任意自治事務			
事業概要	本市が所蔵する浮世絵を中心に、藤沢市の歴史資料等の展示公開を目的とした藤澤浮世絵館の管理・運営を行い、展示及び事業を展開し、市民が郷土愛を育み、郷土の歴史・文化に触れる機会を拡充する。 ※本事業は、平成29年度までは郷土文化推進費、平成30年度からは藤澤浮世絵館運営管理費で実施。									
事業目的および必要性	郷土愛と豊かな心を育むため、市の保有する文化財等をはじめ、地域の文化資産に、いつでも市民が触れられるように展示公開等の環境を整備することが求められており、旧東海道の宿場や江の島の歴史を現した浮世絵及び歴史文化資料を展示公開する施設として、管理・運営を行う。									
対象	1. 個人	市民						429,317 人		
根拠法令等	条例(市)	藤沢市藤澤浮世絵館条例、藤沢市藤澤浮世絵館条例施行規則								
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施									
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先: 湘南工科大学)									
	(委託等内容: 江の島浮世絵映像展示制作)									
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( ):									
<input type="checkbox"/> その他 ( ):										
藤沢市市政運営の総合指針2020										
重点施策名				指針体系コード				その他の計画との関連		
オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出				2-2-41						
関連の深い「市民生活に関する意識調査結果」										
市民意識調査における質問項目				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
地域の歴史や文化が継承され、発展すること				2.8 点	3 点	3.3 点	3.3 点			
				点	点	点	点			

平成30年度 支出済額	事業費節別内訳		
	費目	支出済額(千円)	主な事業内容
	委託料	798 千円	江の島浮世絵映像展示制作委託ほか
	使用料及び賃借料	27,115 千円	ココテラス湘南7階賃借料ほか
	報酬	8,686 千円	浮世絵館非常勤職員報酬ほか
60,545 千円	負担金補助及び交付金	6,946 千円	ココテラス湘南7階共益費・電気料
	その他	17,000 千円	賃金、旅費、需用費、役務費等
【参考】 令和元年度 予算額	事業費節別内訳		
	費目	予算額(千円)	主な事業内容
	委託料	494 千円	ココテラス湘南7階清掃委託
	使用料及び賃借料	27,892 千円	ココテラス湘南7階賃借料ほか
	報酬	8,927 千円	浮世絵館非常勤職員報酬ほか
	64,830 千円	負担金補助及び交付金	7,238 千円
	その他	20,279 千円	賃金、旅費、需用費、役務費等

## 2. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
正規職員等	/	/	/	2.41
再任用短時・任期付短時職員	/	/	/	0.00
非常勤職員	/	/	/	4.00
合計	0.00	0.00	0.00	6.41

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

### 3. 事業実施内容・成果

平成30年度 事業実施 内容	藤澤浮世絵館における事業の実施 展示会6回, 来館者数24,783人 藤澤浮世絵館運営委員会の実施(2回) 松本市美術館「江の島浮世絵展」の開催, 来館者数17,963人						
	指標名	単位	平成27年度 目標値	平成28年度 目標値	平成29年度 目標値	平成30年度 目標値	備考
成果目標	藤澤浮世絵館の来館者数	人		10,000	20,000	20,500	
	参考又は上記指標名の設定ができない理由						
活動実績	指標名	単位	平成27年度 実績値	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	備考
	藤澤浮世絵館日数	日		206	286	280	
成果実績	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	実績値	備考
	藤澤浮世絵館の来館者数	人		32,920	27,535	24,783	
数値で表せない効果							

### 4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
コスト	行政費用(フルコスト) A	0	0	0	89,532			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	0	0	0	81,941			
	事業費(支出済額-②報酬合計)				51,915			
	償還金利息				0			
	人件費合計(①+②+③)	0	0	0	30,026			
	職員数(常勤 非常勤)				2.41   4.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)				20,476			
	②報酬合計(非常勤)				8,630			
	③退職金相当額				920			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	0	0	0	7,591			
	①減価償却費				1,687			
	②退職給与引当金繰入額				5,904			
	③不納欠損額				0			
④その他( )				0				
収入	行政収益(事業収入) B	0	0	0	1,136			
	(3)現金を伴う収入 (千円)	0	0	0	1,136			
	①分担金及び負担金 c				0			
	②使用料及び手数料 d				0			
	③国庫支出金				0			
	④県支出金				0			
⑤その他( )				1,136				
(4)現金を伴わない収入 (千円)	0	0	0	0				
収入未済増減額				0				
収支差額(純費用)A-B E	0	0	0	88,396				
分析指標	項目	藤澤浮世絵館の来館者数	単位	単位	単位	24,783	単位	
		F				人		
	1単位あたりの総費用 A/F (円)		-	-	-	3,612.64		
	市民1人あたりの負担額 E/人口 (円)	0.00	420,619	0.00	425,105	0.00	427,501	205.90
受益者負担率 (C+D)/A (%)							0.00	

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員, 再任用職員, 任期付職員, 嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)  
 ※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額  
 ※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し, 事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成29年度末時点の課題	来館者数の増加を目指すため、より多くの市民等に向けてPRを強化する必要がある。
(2) (1)解決のための平成30年度の取組	ホームページやSNSでの情報発信の頻度を上げることにより、フォロー数が増加した。チラシ配架場所を増設した結果、遠方から来館される人もいた。市内外のイベントにワークショップ等で参加し、PRを行い誘客した。松本市美術館で江の島浮世絵展を開催し、藤澤浮世絵館の認知度を高めた。
(3) 平成30年度末時点の課題	来館者数の増加を目指すため、より多くの市民等に向けてPRを強化する必要がある。
(4) (3)解決のための今後の取組	市民センター・公民館等での浮世絵巡回展、近隣自治会・町内会へのチラシ回覧、配布の拡大など積極的なPRを進める。

6. 事務事業の特徴

(1) 事業の性質	① 法的根拠	ア=法令等の根拠はないが、市の裁量により実施するもの(イ～オ以外) イ=市の条例等で規定されている事業 ウ=県の条例等で事業の実施について推奨・規定されているもの エ=国の法律で事業の実施について推奨・規定されているもの オ=法律等により、事業の実施が義務付けられているもの(市に裁量の余地がないもの)	
	② 事業実施の位置づけ(市民へのサービス提供状況)	ア=国、県、他自治体や民間等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの イ=国、県、他自治体等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの ウ=国、県、他自治体等も同種のサービスを提供しているが、一部のサービスは本市のみが提供しているもの エ=本市のみがサービスを提供し、よりよい生活環境の実現、地域の発展、市民生活の向上を目的とするもの オ=本市のみがサービスを提供し、生活基盤の維持・確保、市民の権利維持・安全確保を目的とするもの	
	③ 事業期間	ア=恒久的に実施するもの イ=年限の定めのないもの ウ=時限的に実施する事業で、終了まで5年以上あるもの エ=時限的に実施する事業で、今後2～4年で終了するもの オ=時限的に実施する事業で、本年度で終了するもの	
	(2) 財政的な特徴	④ 事業費…平成30年度支出済額	ア=300,000千円以上 イ=100,000千円以上～300,000千円未満 ウ=30,000千円以上～100,000千円未満 エ=5,000千円以上～30,000千円未満 オ=5,000千円未満
		⑤ 一般財源比率…事業費に占める一般財源の割合	ア=80%以上 イ=50～80%未満 ウ=30～50%未満 エ=10～30%未満 オ=10%未満
		⑥ 固定的経費比率…行政費用(フルコスト)に占める固定的な経費の割合	ア=10%未満 イ=10～30%未満 ウ=30～50%未満 エ=50～80%未満 オ=80%以上

(3) 事業の種類	(4) その他の事業特性
5. 市民等サービス(その他)	藤沢市の歴史・文化を市民をはじめ、多くの来館者に伝えるもの。

## 7. 事務事業を取り巻く環境の現状と今後の予測

社会情勢等	藤澤浮世絵館では、これまでに収集してきた江の島や旧東海道藤沢宿等に関する浮世絵や、郷土歴史に関する資料を会期ごとに様々なテーマで展示公開しており、市民が文化資産にふれる機会が拡充した。	
他市等の事例	神奈川県秦野市では、寄贈された浮世絵を市立図書館で展示するコーナーが開設された。	
市民ニーズ	把握方法	藤澤浮世絵館では、来館者アンケート及び事業実施のアンケートによるニーズの把握や、藤澤浮世絵館運営委員会においての意見交換による把握（年2回）。
	把握内容	来館数、来館のきっかけ、展示内容の感想等、居住地（市内外）、年代などの項目について回答されたもの及び自由記載の内容。
	対応等	改善が必要な事項については、周知の方法を工夫したり、接遇に気をつけるなど館内で共通認識を図っている。

## 8. 事務事業の評価と今後の方針

評価	開館当初から積極的な周知活動を進める中で、展示内容を充実させてきたことから、多くの方に来館をいただいた。また、姉妹都市である松本市美術館において、「江の島浮世絵展」を開催し、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、藤沢の歴史・文化の発信に寄与した。	
今後の方針	まちづくりテーマ	② 『2020年』に向けてまちの魅力を創出する
	事業の方向性	現状維持
	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、引き続き藤沢の歴史や文化の発信に努め、市民の文化向上に寄与することができるよう努める。	

## 9. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
43	浮世絵館運営委員会に関すること	無	無	3	1
44	浮世絵館展覧会の企画運営に関すること	無	無	3	1
45	浮世絵館ワークショップ、講演会等の企画運営に関すること	無	無	3	1
46	浮世絵館グッズの企画販売に関すること	無	無	1	1
47	浮世絵館の施設の管理に関すること	無	無	1	3

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。  
 ※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

## 10. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/26
----	-------	----	-------	-----	-----------